

# 情報表現基礎・演習Ⅲ

担当教員	姜南圭, 安井重哉
対象	学部2年生
科目群	情報デザインコース専門必修科目群

## 授業概要

デザインプロジェクトにおける「プロトタイピング（試作）」の必要性と、その実践的な方法を楽しく学ぶ。本科目では「遊び（コト）のデザイン」をテーマに掲げ、それを実現するための手段である「製品（モノ）のデザイン」に挑戦する。身近な材料を使ってアイデアをプロトタイプにより素早く形にする技法に加え、「動的インフォグラフィックス」を取り入れることで、自分のアイデアがより分かりやすく、魅力的に伝わる表現方法にもアプローチしていく。これらを、実践を通して習得し、プロダクト・情報デザインを研究し、実務経験を持つ教員と、プロダクトデザインと感性工学を研究している教員が担当する。

## キーワード

情報デザイン, 遊びのデザイン, プロトタイピング手法, 動的インフォグラフィックス

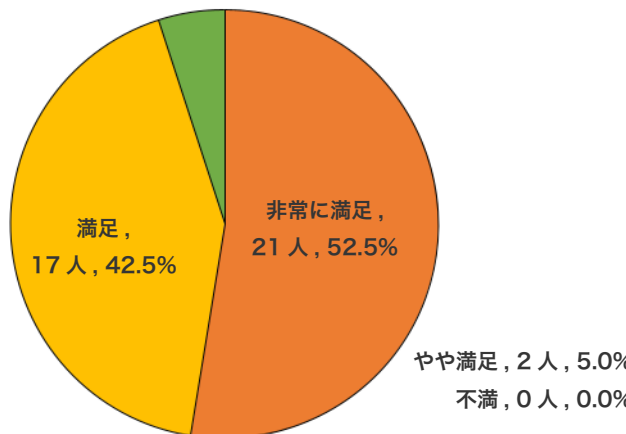
## 到達目標

- ・「遊びのアイデア」を、身近な材料で「動く試作品（プロトタイプ）」として形にする力。
- ・試作品をもとにアイデアを可視化していき、動的インフォグラフィックスを活用して伝える力。
- ・個人作業だけでなく、グループワークを通して一連のデザインプロセスを協調して進める力。

## 授業フィードバックアンケート結果

### 授業満足度

非常に満足	21人	52.5%
満足	17人	42.5%
やや満足	2人	5.0%
不満	0人	0.0%



## 授業フィードバックアンケート結果

### 来年度以降も続けてほしいこと (抜粋)

- 個人ワークからのグループワークでの学習をしたこと。実際に手から動かして作り続けることのノウハウがよかったです。
- プロトタイピングを繰り返して、グループで何かを完成させるという経験がとても面白かったです。ぜひ来年以降も続けてほしいです。
- 実践していく感じだったり、グループワークは自分で考えていないことが生まれるため、とても良い。
- グループでひとつの課題に取り組む。締切が前日午後 10 時まで (であること)。
- あまり話したことがない人たちもチームを作ることで、新しいアイデアを生み出す授業形式がとても素晴らしいとおもいました！

### 履修者から後輩へのアドバイス (抜粋)

- 初めてグループワークで楽しかった！ 1 人ではない楽しさ、大変さがありました。
- 楽しいけど大変です。ちゃんと計画を立てたり、連絡をこまめにするのをお勧めします。
- 今までの制作と比較して制作物が多いので、早め早めに動く必要があります。グループでの制作も行うため、役割を分担しつつ、互いに進捗を報告し合って計画的に進めると良いのではないかと思います。
- グループでの制作はいろんな人の意見を聞きながら制作できるので、今まで自分では思いつかないようなアイデアを考えることもできるので、ぜひ積極的に取り組んで欲しい。
- とにかく計画的に作業をしてください。メッセージには返信や反応してあげると読んでいることが分かりやすいし、やり取りもスムーズにできるので良いと思います。

### 担当教員インタビュー

**Q** この授業を設計・実施する際のポイントを教えてください。

**A** この授業は、前半は「個人でのびのびと」、後半は「グループでワイワイと」進めていく演習形式のデザインコースの授業です。みなさんがデザインコースに配属されて、1 年目の課題だからこそ、たくさん試行錯誤しながら「デザインのプロセス」が体感できる設計にしています。頭で考えるだけでなく、プロトタイプ (試作) を作ってアイデアをどんどん形にし、ブラッシュアップしていくプロセスは、とてもやりがいがあって楽しいです。

**Q** この授業で特に気をつけているところは何ですか？

**A** 前半の個人作業では、自分のスタイルで自由に個性を発揮してください。一方で、後半の 4~5 人のグループ課題では、メンバー同士の緊密なコミュニケーションがカギになります。お互いの得意なことや強みを見つけ合って、チームワークを活かせる体制を作れると最高です。また、期末試験がない代わりに、最終課題の提出日に向けて与えられた時間を有効に活用し、計画的に進めていくことも大切になります。

**Q** この授業を担当していておもしろいところ、楽しいところを教えてください。

**A** 毎年、あまり話したことがなかった同級生同士が、グループワークを通してたくさん会話を交わし、真剣に、そして楽しそうに課題に向き合う姿を見られるのが、教員として一番嬉しく、楽しい授業です。また、「遊びのデザイン」という少し難しくと奥深いテーマに対して、みなさんが実際に遊びを体験し、分析しながら、新しい遊びを生み出していく過程が見られることは、とても面白い授業です。